

# FUJITSU Tablet STYLISTIC

STYLISTIC Q702/G

## BIOS セットアップメニュー 一覧

---

インテル、Intel および Intel SpeedStep は、アメリカ合衆国およびその他の国における  
Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

# BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。  
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.3)	BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.6)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
起動 (→P.7)	本パソコンの起動時の動作について設定します。
終了 (→P.7)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

## 重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。  
あらかじめご了承ください。

## POINT

- ▶ 一部の項目は、該当機能を搭載した機種でのみ表示されます。  
また一部の項目は、他の項目の設定によって表示されなかったり設定変更不可（グレー表示）になります。詳しくは各項目の備考欄をご覧ください。
- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
- ・ 次の表は、ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目です。

メニュー	設定項目	
システム	システム時刻	
	システム日付	
	言語 (Language)	
詳細	ディスプレイ設定	ディスプレイ
	その他の内蔵デバイス設定	内蔵USB3.0コントローラー
	CPU設定	マルチコア SpeedStep(R) テクノロジー
	各種設定	電源ボタン LANによるウェイクアップ 自動Save To Disk 音量設定 ハードウェア省電力機能 アイドル状態におけるCPU省電力(AC) アイドル状態におけるCPU省電力(バッテリ) インテル(R) ラピッドスタート テクノロジー
	Intel(R) Management Engine 設定	Intel(R) ME セットアップ Intel(R) AMT Fast Call for Help SOLコンソールタイプ
	イベントログ設定	イベントログの表示
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
	ハードディスクセキュリティ	ドライブn: ユーザーパスワード設定
終了	変更を保存して終了する	
	変更を保存せずに終了する	
	変更を保存する	
	変更を保存して電源を切る	

## 情報メニュー

BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
CPUタイプ	
全メモリ容量	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
標準メモリ	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
MACアドレス	
UUID	
パネルID	
認証表示 > Enter	本パソコン固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）を表示します。

## システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 □00:00:00～23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
システム日付 □01/01/1980～12/31/2099	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
ドライブ構成	「標準設定値を読み込む」実行後は再起動が必要
ドライブ0 □使用しない ■使用する	
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	

## 詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動設定	
高速起動 □使用しない □使用する	Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。
互換性サポートモジュール □使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 8.1の場合「使用しない」、Windows 7の場合「使用する」に設定されています。</li> <li>「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能</li> <li>「セキュアブート機能」が「使用する」に設定されている場合、本設定は「使用しない」に固定され変更できません。</li> </ul>
起動時の自己診断画面 ■使用しない □使用する	
ネットワークサーバーからの起動 □使用しない ■使用する	
UEFI起動時のスクリーンキーボード ■使用しない □左上 □右上 □左上 □右下	
ネットワーク起動の優先プロトコル ■IPv4 □IPv6	「互換性サポートモジュール」が「使用しない」かつ「ネットワークサーバーからの起動」が「使用する」時のみ表示
キーボード／マウス設定	
起動時のNumlock設定 □オン ■オフ □オン (Fnキー)	
ディスプレイ設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>OS起動後はOSの設定に従う</li> <li>「互換性サポートモジュール」が「使用しない」時のみ表示</li> </ul>
ディスプレイ □液晶ディスプレイ □外部アナログ ■自動	

## □選択肢 ■初期値

設定項目	備考
その他の内蔵デバイス設定	
シリアルATAコントローラー □使用しない ■使用する	
SATA コントローラー モード設定 □IDE ■AHCI	「シリアルATAコントローラー」が「使用する」時の み選択可能
Bluetooth(R) □使用しない ■使用する	
内蔵LANデバイス □使用しない ■使用する	
無線LANデバイス □使用しない ■使用する	
指紋センサー □使用しない ■使用する	
内蔵カメラ（前） □使用しない ■使用する	
内蔵カメラ（後） □使用しない ■使用する	
SDスロット □使用しない ■使用する	
照度センサー □使用しない ■使用する	
内蔵USB3.0コントローラー □使用しない ■使用する	
センサーハブ □使用しない ■使用する	
CPU設定	
マルチコア ■使用する □使用しない	
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	
SpeedStep(R)テクノロジー □使用しない ■使用する	

## □選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Virtualization Technology □使用しない ■使用する	
Intel(R) VT-d ■使用しない □使用する	「Virtualization Technology」が「使用する」時のみ設定 変更可能
Intel(R) TXT ■使用しない □使用する	「Virtualization Technology」および「VT-d」が「使用す る」、TPM（セキュリティチップ）の状態が「有効か つ使用可」の場合のみ設定変更可能
USB設定	
レガシーUSBサポート □使用しない ■使用する	「使用しない」時はFDDユニット（USB）からの起動 不可
SCSIサブクラスサポート □使用しない ■使用する	・「レガシーUSBサポート」が「使用する」時のみ設 定変更可能 ※注1
USBポート □使用しない ■使用する	
各種設定	
電源ボタン ■使用しない □電源オフ	ACPI対応OSでは無効
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	「使用する」設定時は、消費電力が増加するためAC アダプタ使用推奨 ※注2
バッテリ運用時 □使用しない ■使用する	「LANによるウェイクアップ」が「使用する」時のみ 設定変更可能
強制LANブート ■使用しない □使用する	「LANによるウェイクアップ」が「使用する」時のみ 設定変更可能
LANによるレジューム □AC接続時のみ ■常に有効	
自動Save To Disk □オフ ■オン	
音量設定 □オフ □小 ■中 □大	

## □選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ハードウェア省電力機能 □使用しない ■使用する	
アイドル状態におけるCPU省電力(AC) ■低電力 □標準	「ハードウェア省電力機能」が「使用する」時のみ設定変更可能
アイドル状態におけるCPU省電力(バッテリ) ■長時間稼動 □低電力 □標準	「ハードウェア省電力機能」が「使用する」時のみ設定変更可能
インテル(R)ラピッドスタートテクノロジー □使用しない ■使用する	
Intel(R) Management Engine設定	
Intel(R) ME セットアップ > Enter	再起動後にME設定メニューに入ります。
Intel(R) AMT Fast Call for Help > Enter	・再起動後に確認メッセージ表示 ・管理サーバーが設定されていない場合は使用禁止
Intel(R) ME 設定のクリア > Enter	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・再起動後に確認メッセージ表示
SOLコンソールタイプ □PC-ANSI □VT-100+ ■VT-UTF8	
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 > Enter	
イベントログ □保存しない ■保存する	
イベントログの消去 > Enter	
イベントログのマーク > Enter	現在までのイベントログを既読に設定し、以降表示されないようにする

注1: 接続されているデバイスによっては、「使用する」に設定すると本パソコンが起動しなくなる場合があります。  
その場合は、デバイスを取り外して再起動してください。

注2: Windows 8.1の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。詳しくは、『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「Wakeup on LANを有効にする」をご覧ください。

## セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 > Enter	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザー用パスワード設定 > Enter	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザー用パスワード文字数 □ 0~32	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
起動時のパスワード ■使用しない □最初のみ □毎回	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
自動ウェイクアップ時 ■使用しない □使用する	・ LAN／タイマー等による自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定。 ・ 「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」時に設定可能
取外し可能なディスクからの起動 ■常に可能 □管理者のみ	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
BIOS フラッシュメモリへの書き込み □禁止 ■可能	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
起動メニュー □使用しない ■使用する	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定
ハードディスクセキュリティ	
ドライブ0	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	・「管理者用パスワード」、およびハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザーパスワード設定 > Enter	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
起動時のパスワード入力 □使用しない ■使用する	設定にかかわらずOSの再起動時は要求なし

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
所有者情報	
所有者情報 > Enter	
文字色 ■グレー 他	全16色から選択可
背景色 ■黒 他	全16色から選択可
TPM（セキュリティチップ）設定	・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・セキュリティチップ選択時のみ設定可能
セキュリティチップ □使用しない ■使用する	設定変更は再起動後に有効
現在のTPM状態	
TPM状態の変更 ■変更しない □有効かつ使用可 □無効かつ使用不可	設定変更は再起動後に有効
セキュリティチップのクリア > Enter	・クリアは再起動後に実行 ・「現在のTPM状態」が「無効かつ使用不可」の場合には選択不可
セキュアブート設定	
セキュアブート	設定状況を表示 ※注1 ※注2
署名情報の保護	設定状況を表示
署名情報の状態	設定状況を表示

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
セキュアブート機能 □使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。</li> <li>「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能</li> <li>本設定を「使用する」に設定すると、「互換性サポートモジュール」設定が自動的に「使用しない」に固定され、選択できなくなります。</li> </ul>
署名情報のカスタマイズ	「管理者パスワード」設定時のみ設定可能
署名情報の初期化	「管理者パスワード」設定時のみ設定可能

注1：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 8.1（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」、「セキュアブートに失敗しました」。  
\*\*アクセス拒否\*\*などのメッセージが表示されます。

また、起動メニューから起動デバイスを選択した場合に、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されたり、起動メニューが再表示される現象が発生します。

注2 Windows 8.1のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 8.1を起動します。
  - 2 【Esc】 + 【C】キーを押すか、チャームを表示します。
  - 3 「検索」をタップし、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。
- 「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

## 起動メニュー

設定項目	備考					
起動デバイスの優先順位	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>Floppy Disk Drive</td></tr> <tr><td>Drive0 HDD</td></tr> <tr><td>NETWORK</td></tr> <tr><td>USB HDD</td></tr> <tr><td>USB CD/DVD</td></tr> </table> <p>『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「起動デバイスを変更する」をご覧ください。</p>	Floppy Disk Drive	Drive0 HDD	NETWORK	USB HDD	USB CD/DVD
Floppy Disk Drive						
Drive0 HDD						
NETWORK						
USB HDD						
USB CD/DVD						

## 終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	※注1
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 • 言語設定 • システム時刻 • システム日付 • 互換性サポートモジュール <sup>注2</sup> • 管理者用パスワード • ユーザー用パスワード • ハードディスクパスワード • 所有者情報 • セキュアブート設定 • リモートロック・消去設定
変更前の値を読み込む	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	

注1：確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。

注2：「セキュアブート機能」が「使用する」の場合には、「互換性サポートモジュール」設定が自動的に「使用しない」に固定され、「標準設定値を読み込む」は対象外となります。